

2017年7月 創業（平成29年7月1日）
2020年10月 設立（令和2年10月29日）
2021年1月 事業開始（令和3年1月1日）

会社名 株式会社ファイブピット
代表者 代表取締役 佐々木 保
設立 2020年10月29日（令和2年）
所在地 宮城県仙台市青葉区中央2丁目8-11
プレミアムグリーンヒルズ3F M-LABEL仙台
資本金 500万円
電話 022-398-7024
F A X 022-398-7025
U R L <https://www.5pit.co.jp>



株式会社ファイブピット 会社案内

激しいビジネス環境の変化や世の中に対応していく為に、デジタル技術を活用し、顧客や社会のニーズに対応した「変革したビジネスモデル」を提案することを目的に設立しました。

『想像力とそれを実現する創造力、高付加価値の創造』

をテーマにデジタル技術を活用し、お客様に満足いただけるサービスを提供するイノベーション企業として、顧客や社会のニーズに合わせたビジネスモデルの提案をしています。

当社はSDGsの理念に深く共鳴し、当社自身がSDGsの行動指針を実践するだけでなく、日本および世界のSDGsの実現のためにソフトウェアを使って社会に提供していくことを宣言します。

	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる ・ITを活用した農業事業の拡張で雇用の機会を創出
	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する ・データに基づく効率的な農業を実現し生産性を向上 ・農作物の備蓄を正しい管理・有事の際の安定した食料供給の仕組みを構築
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する ・各種予防接種の補助・健康維持、喫煙率への対策 ・育児・介護や家事労働に対する認識・評価を正当に行うための規定を設定 ・コロナウイルス対策を実施
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う ・女性技術者を積極的に採用 ・女性が長く働ける職場環境
	安全な水とトイレを世界中に ・農業における効率の良い水の使用法を検討
	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する ・CPUの処理量を減らすコーディング ・時間外労働を極力減らすことでエネルギー消費削減 ・再生可能エネルギーを農業事業に利用
	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する ・事業計画を達成し、社員のディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の達成、雇用の維持・創出を目指す ・働き方改革の推進、採用活動の多様化 ・新しい農業事業の形としてのブランディング
	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る ・技術革新に繋がる必要な技術、知識が身につくよう支援
	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する ・CO2削減・渋滞緩和を目的としたエコ通勤・時差出勤・テレワークの推奨 ・ITを活用した効率的な農業形態の検討
	持続可能な生産消費形態を確保する ・顧客ニーズにあった製品の開発と品質向上 ・公共交通機関利用、省エネカー導入 ・データ分析によるごみの発生量の低減
	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する ・お取引先や従業員・家族といったステークホルダーと社会の発展に貢献できる企業維持

ファイブピットの由来は、《FIVE = Society5.0》《PIT = サーキットに設けられている競技車両の整備を行う施設》Society5.0の前線基地を意味した社名となっています。

内閣府が掲げる『Society5.0』の取り組みに対する前線基地となるべく、AIやIoT、ビッグデータなどの技術を駆使したシステムの開発に力を入れ、取引先を始めとするステークホルダーと社会の発展に貢献できる企業を目指しています。

システムコンサルティング

顧客の業務内容を分析し、経営戦略や問題解決のための情報システムを構築。

顧客の要望を洗い出し、その要望を叶えるシステムの設計を行うもので、システム開発の最上流工程となります。



システム開発

クライアントサーバシステムによるオープン系システム開発、製造業における組込システム開発、大型汎用コンピュータによる業務システムの保守など幅広く対応しています。



システム運用

大型汎用コンピュータのシステム運用管理の一括受託からオペレータ要員の派遣、サーバ及びインターネットの運用管理等、システムの運用に関する一切の業務を確実にサポートします。



データサイエンス・ラボ

データサイエンスに基づく効率化と遊休農地のリノベーションにより、農業従事者と一緒に農業データ分析の基盤を構築し、次世代農業のあり方について考えます。

